

# こどもの居場所利用者アンケート

## 集計結果報告書（大人用）

調査実施日：2025年8月～2026年3月 / 茅ヶ崎市



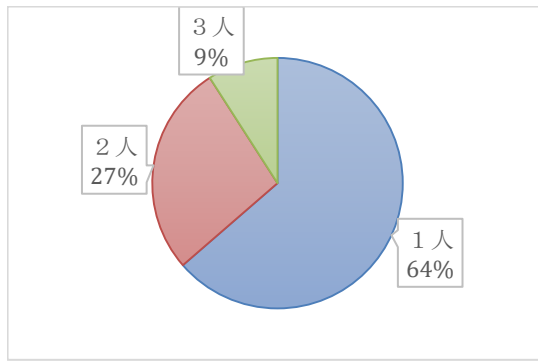
### 1. 回答者属性

#### ■ 回答者数

回答者数	11名
お連れのお子さんの人数	16名

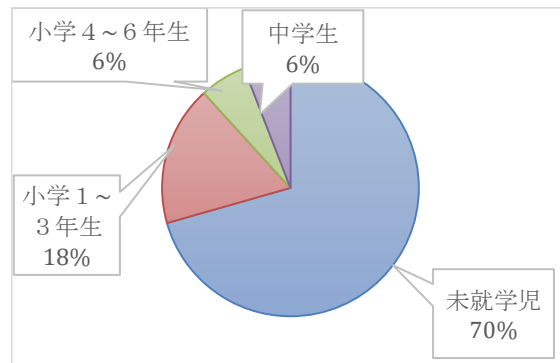
#### ■ お連れのお子さんの内訳

人数	件数	割合
1人	7件	64%
2人	3件	27%
3人	1件	9%



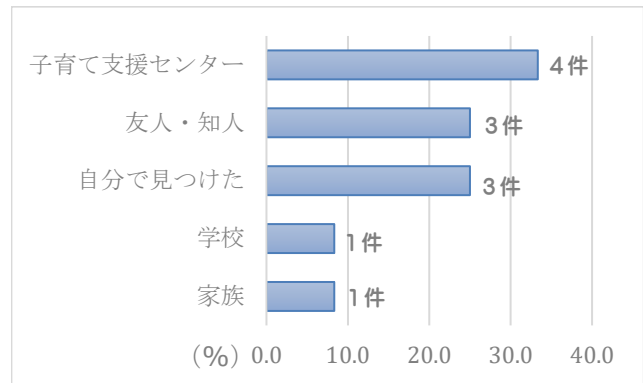
#### ■ お子さんの年齢

年齢区分	件数	割合
未就学児	11件	68.7%
小学1～3年生	3件	18.7%
小学4～6年生	1件	6.2%
中学生	1件	6.2%



## 2. 居場所を知ったきっかけ

知ったきっかけ	件数	割合
子育て支援センター	4件	33.3%
友人・知人から	3件	25.0%
自分で見つけた	3件	25.0%
学校からのお知らせ	1件	8.3%
家族から聞いた	1件	8.3%
【その他】 既存の学校環境と子の特性にギャップを感じており、精神的負担が大きくなったため、本人のペースで過ごせる学び場を探してスクールを知った。		



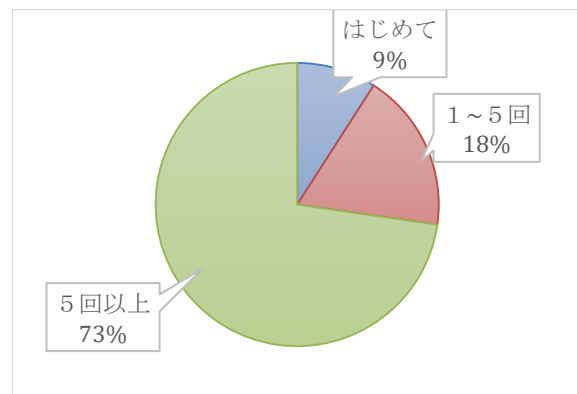
最も多い認知経路は「子育て支援センター」（33%）で、次いで「友人・知人」と「自分で見つけた」が各25%でした。口コミや子育て支援センターとの連携が集客に有効であることが示されています。

## 3. 利用頻度と活動内容

### ■ 利用頻度

回数	件数	割合
5回以上	8件	73%
2～3回	2件	18%
はじめて	1件	9%

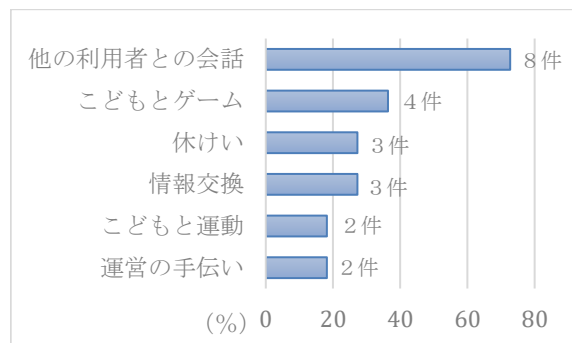
全体の73%が「5回以上」利用しており、継続的なリピーター層が中心となっています。



### ■ 大人の活動内容（複数回答）

活動内容	件数	割合
他の利用者との会話	8件	73%
こどもとゲーム	4件	36%
休けい	3件	27%
情報交換	3件	27%
こどもと運動	2件	18%
運営の手伝い	2件	18%

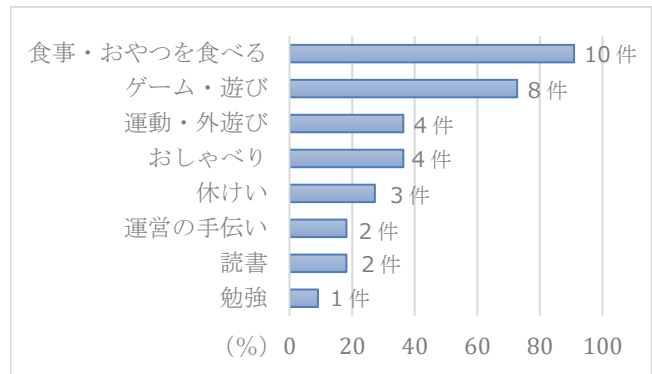
※ 複数回答のため合計は100%を超えます。



## ■ お子さんの活動内容（複数回答）

活動内容	件数	割合
食事・おやつを食べる	10件	91%
ゲーム・遊び	8件	73%
おしゃべり	4件	36%
運動・外遊び	4件	36%
休けい	3件	27%
読書	2件	18%
運営の手伝い	2件	18%
勉強	1件	9%

※ 複数回答のため合計は100%を超えます。



「食事・おやつを食べる」が91%と最多で、居場所が子どもたちの食の場としても機能していることが分かります。「ゲーム・遊び」（73%）も多く、遊び・休憩を中心とした自由な時間の提供が評価されています。

## 4. この居場所は安心して過ごせる場所ですか

回答者全員が「安心して過ごすことができる」と回答しました。主な理由は次のとおり。

- ・子どもは、決まったカリキュラムよりも自分のペースで活動を選べる環境が合っているため、この居場所では安心して過ごせている様子が見られます。
- ・多くの大人の目があるので安心して自由に遊ぶことができる環境。

## 5. 利用者の声

### ■ 好きなこと・楽しいと感じること

- ・料理を作って食べたり、おしゃべりしたり、ゲームをしたりすること。
- ・異年齢で子どもたちが遊ぶ環境が好き。親同士の関わりも多く育児の相談が気軽にできる。
- ・皆で季節の行事が楽しめること
- ・自由に責任を持って行動する環境であれこと
- ・大人と会話ができること
- ・他のママ達と話をしたり、ゆっくりお茶やお菓子を食べて過ごすこと
- ・子どもが遊んでいる姿を見ながら休憩できるのがいい。
- ・施設がとれもキレイでおしゃべりしやすいママさんがいて、とても楽しいです。
- ・運営精しているおばあちゃんたちとお話すること。ママたちと情報交換できること。子どもたちがのびのび遊べること
- ・子どもが運営会議や毎日の話し合いに参加する中で、自分の意見を伝えたり、他の子の考えに触れたりすることを楽しんでいます。その過程で積極性が育ち、精神面でも成長していると感じられることが、親としてとても嬉しく思っています。

## ■この居場所で、できたらいいなと思うこと

- ・運営費の都合で、現在は自身のタブレットを持参して利用しています。もし可能であれば、共通で使える端末やデジタル学習の環境整備が進むと、より活動の幅が広がると感じています。
- ・多くの人に知ってもらって参加者が増えたらいいな。
- ・リトミック
- ・もう少し大きくなってからも楽しめるようなおもちゃがほしい。トランポリン。すべり台とか！
- ・お昼ごはんを食べ、午後も遊べるといいなと思う。
- ・結構満足です。
- ・送迎

## ■その他、自由記載

- ・現在の制度では、学校に通えなくなった時点で子どもが受けられる支援が限られてしまうことに不安を感じています。どの子どもも安心して過ごせる選択肢が広がることを願っています。
- ・このような居場所があるおかげで家から外に出て過ごす時間が増えるのと、親以外の大人と過ごしたり、お友達と出会える場所にもなります。家以外で安心して過ごせる居場所がたくさん増えていくことで、学校に行っていない子の選択肢が広がったり、本人の困りごと親の悩み事も少し減ると思います。
- ・もう少し値上げしても良いので、無理せず持続可能な活動をしていってほしいと思います。
- ・平日は毎日でもやってほしい！
- ・いつもおばあちゃん達が子ども達にやさしく接してくれて、親も子どもも大好きな場所です。季節の行事も沢山あり、毎回行くのが楽しみです。
- ・もっといろんな人にこの場所を知ってほしいです。
- ・満足です。
- ・こういう場所が増えていくとうれしいです！！室内で遊べる場所があるとうれしい！！

## 6. まとめ

本アンケートから、この居場所は特に未就学児を持つ保護者に多く利用されており、子育て支援センターを通じた認知が最も多いことが分かりました。リピーター率は高く、大人にとっては「親同士の情報交換・交流の場」として、子どもにとっては「食事・遊び・休憩の場」として機能していることが確認されました。

安心感については全員が「はい」と回答しており、多様な年齢層の大人が関わる環境が安心感の醸成に寄与していると考えられます。また、学校に通いにくいこどもの代替的な居場所としての役割を期待する声も見られ、インクルーシブな居場所としての社会的意義が示唆されます。

今後の課題としては、①開催日数・時間の拡大（特に平日毎日・午後まで）、②認知度の向上、③持続可能な運営体制の構築（適切な利用料の設定など）が挙げられます。

以上